

アバンツァーレ仙台 S C ジュニアユース

～ 日本サッカーを変えるチームを～

当クラブの簡単な自己紹介をさせていただきます。

当クラブは、平成11年4月にアバンツァーレジュニアサッカークラブを創立。「子供達にとってどうあるべきなのか。」「子供達の最大の理解者である保護者の皆様にとってどうあるべきなのか。」また、「地域社会にとってどうあるべきなのか。」そして、「私たちは何ができるのか。」と言うことを一貫して追及して参りました。

「私たちにできること」それは、その年代にしか身に付かないしっかりした技術指導はもちろんのこと、サッカーの指導を通じた人間性の育成であると考えています。相手を思い、相手が元気になってくれるような素敵な挨拶が出来ること(良いあいさつ)、全力でプレーすること(良いプレー)、相手を思いやり助けること(良い行動)、失敗を恐れず、決して臆することなくチャレンジすること(チャレンジ)。技術面だけではなく、このような面に対しての指導(3Y1Cの指導)にも力を注いでおります。

主な成績としては第28回、29回と宮城県初となる2年連続での全国大会出場を果たすことができました。現在、3回目の出場に向けチャレンジしている真最中です。

ジュニアユースについて

2008年度から新規にアバンツァーレ仙台ジュニアユースを立ち上げることになりました。初年度は、東北クラブユース連盟の準加盟ということで、大きな公式戦への出場はできません。しかし、これはチームとして必ず通らなければならない道。一緒にゼロからのスタートを共に戦ってくれる選手を募集したく説明会を実施する運びとなりました。

私達はジュニアサッカークラブとして活動をしており、小学6年生までの指導を実施し、将来の夢に向かってのお手伝いができればと考え指導を行っております。また、躰や人間性の育成という部分の指導に関しても力を入れております。

ジュニア年代に徹底した個人技術の指導に加え、ジュニアユース年代では更に自主性を重んじた方針を置くことにより、その後のユース年代での活躍が期待できる選手の育成が可能だと判断したからです。自主性は用意されてしまっている環境では育みにくいと考えております。当初私達も、週3回ないし4回の練習をやるように考えていましたが、子ども達に今必要なことを考えていった結果、それは「自主性」ではない

かと考えました。子どもたちの帰宅時間を考えると、週3回ないし4回のナイター練習よりも、徹底した自主練習を行うことにより、それ以上の効果を期待できるのではないかと考えております。初年度は公式戦には出られませんが、2年目からはもちろん結果にこだわってやっていきます。やるからには最高で最強のチームにしよう！というのがスタッフ一同の意見です。プロ選手で自主性のない選手はおそらくいないでしょう。強豪校でレギュラーを取っている選手で努力しない選手はいないでしょう。「今」が大切な岐路に差し掛かっていると考えております。

併せて「学業」も重要視していきます。サッカーだけをやれば良いというような考え方ではありません。学生である以上、学業がもっとも重要なものであることに変わりはありません。私達はそのような点からチーム作りとして「自主練習」を重要視した方針を打ち出すことにしました。ひょっとしたらこれだけでは足りないという状況に陥る可能性ももちろんあります。しかし、現時点では「自主性」の可能性を信じてみたいと思っております。

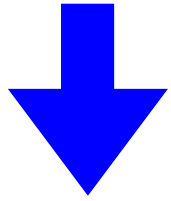
今回のジュニアユース発足の急な決定は、太白ブロックの少年団関係者をはじめ、ジュニアユース関係者、皆様のご理解、ご協力のもとにようやくここまで話が決まった

ものです。「やっぱり出来なかった」という訳にはいかないので、完全に決まってから案内すべきという判断から、6年生のお子様を持つ保護者の皆様には急なお話になってしまったことを心からお詫び申し上げます。遅くなりまして本当にすいませんでした。

私達「アバンツァーレ仙台SCジュニアユース」の方針は「文武両道」です。様々なジュニアユースクラブのお話や、保護者の皆様のお話を聞いているとサッカーの面だけではなく学業の面を特に心配されているというお話をよく聞きます。夜、21時過ぎまで練習があり、行き帰りの時間を考えると、次の日の学校に影響が出てしまうのは当然のことでしょう。それが週に3日～4日ということでは学業が疎かになってしまうことも想像が付きまます。

サッカーは好きでも勉強が好きという子は多くはありません。好きではないものを疲れた体に鞭打って行うには相当な精神力が必要になります。おそらく大人の皆様でも厳しいのではないのでしょうか。ならば無理のない範囲内で自主練習を行ってもらうことで学校生活への影響を最小限に食い止めることもでき、なおかつ先程も述べた通りチームとして「今」最大の課題である「自主性の育成」ができると考えました。

アバンツァーレスCが目指すもの



クラブ・コンセプト:動き続けること。

それは、あきらめないこと。

変化を恐れない。新たな可能性へのチャレンジ

指導コンセプト:憧れの大人となる

子供たちに「させる」のではなく、我々大人が子どもたちの先頭に立って、「共に行う」ことでコーチと選手の間に「強い絆」が生まれ、そして心から「やりたい」と思ってもらうこと。

大人が元気よく、積極的に、あきらめない心を持つこと。

クラブの取り組み

： 夢中になれるシステムの構築

良い習慣を身につけるつけるシステムの構築

成功の循環

思いをもつ

行動になり

習慣になり

人格を作り

運命を変える

ポイントは「習慣」

習慣をつくるのが一番大変であり、習慣をつくってしまえば、目標を達成することは容易である。

目指す大人

: 自主的に考え、自分で責任をとれる大人

ユース(高校生年代)

: 大人同様の扱い。自主性と自己責任

ジュニアユース(中学生年代)

: 自主性を身につける、前の段階。「習慣」を身につける。

ジュニア(小学生年代)

: 個の育成。感性を磨く。しつけと元気。

「習慣」をつくるための主な取り組み

面談

塾経営のノウハウを活かし、塾長による面談を実施。学習への強固な動機づけを行う。

コーチによる面談。家庭訪問を行い、練習への取り組む強固な動機づけをおこなう。

また、家庭での学習環境、自主練習の環境をチェック、相談を受け付ける。

自主トレ

基本的に火～金曜まではトレーニングプログラムを配布し、個人練習を1時間程度行うように指導を行う。コーチが月毎にトレーニングプログラムを選手に配布し、フィジカルトレーニングやボールを使うトレーニングまで、毎日欠かさず行ってもらいます。選手の自主性が最も必要になります。この年代で「自主性」を身につけることによりユース年代でプロへ挑戦できる選手の育成を目指します。

家庭学習

1日2時間。必ず、机に向かって頂きます。

塾の教材を基本とし、家庭学習に取り組んでもらいます。学習の進み具合により、宿題も課すことがあります。

自主トレ、家庭学習の報告

自主トレ、家庭学習の進捗状況を、毎日、コーチに報告(21日間プログラム)その後は週末の定期的なチェックとなります。ただ、習慣づいていないと判断された場合、そこから一週間、毎日の報告を義務付けます。

【報告方法】

メールでの報告 目標設定シート(マイクロソフト・エクセルまたはワードによるデータのフォーマットがあります)

FAXでの報告 メールを送る環境がない者

サッカーノートでの報告 上記2つの手段が不可能なも者。週末に提出。

ここで、この報告は「やらされてやることではない」ということを強調しておきます。大切な「習慣」をつくるためのシステムです。

罰則など考えてはおりません。あくまでも「自主性の育成」のためです。コーチから、粘り強くアプローチしていきます。

サッカーノートの活用

学習、サッカー、私生活の悩みや相談をコーチに書いて下さい。できるかぎりのアドバイスを行います。コーチとのコミュニケーションツールの一つです。

F A X 塾

学習やトレーニングの質問をメール、F A Xで受け付けます。学習の質問は塾講師、トレーニングの質問はサッカーコーチから、プロの回答やアドバイスを返信致します(できるだけ2日以内に返信致します。時間がかかる場合は連絡いたします)

チーム学習

週に1度、コーチによる学習の進み具合をチェックします。チーム全体での学習時間も設けます。チームメイトで間で「教える」「教わる」環境を提供。モチベーションを維持するとともに、チームの和を形成します。

チーム作りの考え方

チーム統制には、3つのパターンがある。

自立（自律） 選手が自分をコントロールして動く

強制統制 県レベルの強豪チーム。カリスマ監督がいて皆がそれに従っている

無法地帯 弱小チームレベル。統制がとれず、バラバラ

もちろん、当クラブは、「自立」によるチーム作りに挑戦する。自立に取り組むということは、一步間違うと一番下の段階まで転げ落ちる難しさもある。最初はうまくいかないこともあるでしょう。ただ、選手には、一番上を目指すというプライドを持ってもらいたいと考えます。

その他

塾の教材費(年1回、5教科)を無料で配布。家庭学習の教材となります。

模擬試験(年2回)を実施。学習の進み具合をチェックいたします。

学校のテスト結果を報告してもらいます

「文武両道」が方針です。サッカーだけでなく勉強にも本気で挑んでもらいます。

テストの点数または成績が著しく悪い場合、改善する意志がみられない場合には退団して頂きます。サッカーだけやれば良いということはありません。「やる」と決めた以上は「やりきってもらおう」ことを要求します。

遠征、サッカー合宿、勉強合宿

ジュニア同様、様々な企画を模索しております。

Q & A

Q . 会費以外での親の負担はありますか？

A . 練習場所への送り迎えだけです。子供達が自分の力で通える範囲であれば、その必要もありません。練習中は、責任を持ってお預かりします。また、保護者会などもなく、ほとんど負担はありません。

Q . 怪我への対応はどうなっていますか？

A . クラブでは練習中はもちろん、練習日の行き、帰りまで対応する保険に入っております。怪我・病気については1ヶ月単位で休会することもできます。休会費500円を頂きますが、月謝はかかりません。事前に所定の用紙をご記入のうえコーチへ提出が必要です。

Q. 練習時間、場所は？

A.

【月曜日ナイター練習】

場所：シェルコム仙台(または「せんだいスポーツパーク泉」)

時間：18:30～20:30

【土曜日練習】

場所：中田中央公園ほか

時間：2時間程度

予約で会場を抑えています。予約状況によって練習会場、練習時間は異なります。

最寄駅からの送迎も行います。

【日曜日】

大会、交流試合、強化練習等または、完全オフ。

なぜこのような練習システムを導入したのか？

通っていただく選手たちの時間のことを配慮したという点はもちろんですが、第一に子供の自主性を伸ばすため、と考えています。中学校年代は非常に難しい年代になります。大人と子ども、両方の問題を抱えています。プロになる選手、勉強のできる人はどういう人間か？間違いなく「自主性のある人間です」自分で課題を見つけ、自分で解決方法を探り、そして実行するだけの強い意志がある人間です。

その自主性とは、才能なのか？

そうではなく、後天的に身につけることができるものだと思っています。まず当クラブは、自主的に行動できる環境を与えます。ただ「じゃあ、やってみろ」では無責任すぎます。そこで、今まで説明してきたシステムを企画したのです。最初は窮屈な思い、大変な思いをするかもしれませんが。しかしながら、この「自主練習」「家庭学習」の習慣が身につけば、何物にも代えがたい財産となるはずです。

「自主性」から積極性を生み出し、改善を生み出す。そしてそれが結果、チームとしての強化となる。また、その自主性や積極性がその後の人生で必ず役立つと思っています。

夢を壊す話で申し訳ありませんが、本当にサッカー選手になれる子は一握りです。統計的には

Jリーグ-になれるのは1000人に1人、さらに日本代表、世界で通用する選手ともなると…。

「文武両道」は、後からついてくる結果として、まずは「自主性を身につける」いいかえれば、自主性をトレーニングするということです。このような考え方に賛同していただける方のみの入団で構いません。ジュニアユースという年代は非常に難しい年代です。「サッカーばかりやって…」ということではその後の人生を左右してしまう結果となる可能性もあります。ご検討お願いします。